

第3回市議会定例会 一般行政報告

第3回市議会定例会が9月8日に招集され、山手市長から一般行政報告を行いましたので、その概要をお知らせします。



1 JR留萌本線について

本年7月21日にJR北海道より、留萌から石狩沼田の区間を令和5年3月31日まで運行して廃止、石狩沼田から深川の区間を、JR北海道が運行に係る経費として、年間3億5000万円などをすべて負担した上で、令和8年3月31日までの3年間を運行して廃止するとした案が沿線自治体会議の場で正式に提案されました。

この提案を受け、本市では、市民のみなさんを対象とした説明会を8月5日と10日の2回、北二已駅付近の町内会を対象とした説明会を8月9日にそれぞれ実施し、49名の参加がありました。

説明会での意見などを踏まえ、JR側の提案内容について沿線自治体で協議をしましたが、将来にわたる多額の運行経費などの問題について、

現実的な解決の糸口を見いだすことが困難であることなどから、8月30日に開催された沿線自治体会議において、留萌本線問題に係るJR北海道からの提案を受け入れることとし、その旨合意したところであります。今後においては、代替交通支援や鉄道跡地の処理の問題などについて、JR北海道側と速やかに協議を行います。

2 新型コロナウイルス感染症について

7月下旬から、全国的にオミクロン株のBA・5系統を中心とする感染が拡大する中、本市においても新規感染者数が増加傾向となり、7月31日から8月6日までの1週間で、過去最多となる201人の新規感染者が確認され、その後も高止まりの状況にあることから、引き続き、基本的な感染防止対策に努めていただける

よう、ホームページなどで周知をしているところです。

次に、新型コロナウイルスの接種状況について、本年7月から、4回目の接種となる追加接種を開始し、市内12医療機関での個別接種のほか、市内のホテルや健康福祉センターでの集団接種により順調に接種が進み、9月2日現在、接種対象となる60歳以上の方と18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方などのうち、7212人の方が接種を完了しています。

また、オミクロン株に対応したワクチンを使用しての新たな追加接種については、2回以上の接種を完了したすべての方を対象として、10月中旬以降に接種の開始を予定しています。が、国においては前倒しの方針などを示していることから、本市においても円滑な接種体制の整備を進め、各医療機関などと連携を図りながら、スムーズに接種が進むよう努めます。

3 市民総ぐるみ運動について

交通事故や犯罪・非行のない明るく住みよい平和なまちづくりのため、社会を明るくする運動をはじめとする、青少年の非行・被害防止や夏の

交通安全、薬物乱用防止などの各種運動が毎年7月に集中的に展開されることから、これらの運動の一体的取り組みを進めるため、本市では3年ぶりとなる総決起大会を7月1日に文化交流ホール「み・らい」で開催しました。

当日は、約300人の市民が参加し、社会を明るくする運動の内閣総理大臣メッセージの伝達や深川小学校の児童による決意表明、本運動に市民一丸となって取り組む旨の大会決議の採択のほか、旭川保健観察所長による講演会が行われました。

これらの行事や取り組みを通して、明るく住みよいまちづくりを推進するという本運動の趣旨が市民に浸透する良い機会になりました。



4 石狩川クリーンアップ作戦について

石狩川の大きな恵みに感謝するため、8月7日は「石狩川の日」と定められており、本市では、この日にちなんで取り組みとして「石狩川クリーンアップ作戦」を石狩川右岸の緑地公園で毎年実施しています。

本年は花火大会終了後の8月3日に実施し、ふかがわ夏まつり実行委員会の関係者や市民ら約200人が参加し、空き缶や紙くずなどを収集する清掃活動が行われました。

これらの取り組みは、良好な河川環境の保全や河川の愛護意識の一層の高揚を図る上で、良い機会となりました。



5 農作物の生育及び収穫の状況について

8月15日現在の空知農業改良普及センター北空知支所の調査によると「水稲」は、7月以降、気温が平年より高く推移したことから、生育は平年より3日早く進んでいます。また、農林水産省の8月15日現在の2022年産水稲の作柄概況の発表では、北海道が作況指数で99から101に当たる「平年並み」とされました。「小麦」は、高温により生育が進み、収穫作業は順調に終了し、収量は平年並みが見込まれ、品質については良好と伺っています。「大豆」は、気温が平年より高く推移したことから、生育は平年よりやや早めに推移しています。「そば」は、生育は平年並みですが、6月下旬の降雨、7月上旬の高夜温の影響により、受粉状態が芳しくなく、収量の低下が懸念されています。「りんご」は、生育は平年よりやや早めに推移しており、着果率はやや多めです。

今後においても、天候が順調に経過し、無事、出来秋を迎えられるよう、関係機関・団体と連携しながら、適切な対応に努めます。

6 市記念事業について

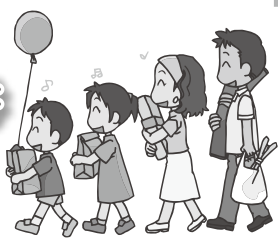
開村130年・市制施行60年という節目の年にあたり、市民のみなさんと先人への感謝の思いを示すとともに、ふるさと「深川」への愛着を育む機会となるよう、記念事業の開催に向け準備を進めています。

記念事業の概要としては、本年10月21日に文化交流ホール「み・らい」において、記念式典及び記念講演会の開催を予定しており、記念式典では、市勢推進に貢献いただいた功労者の紹介や「ふかがわふるさと大賞」として、本市のイメージアップや知名度向上に貢献のあった方々の表彰などを予定しております。また、記念講演会では、深川西高等学校の卒業生でイギリス在住の作家黒木亮氏を講師に招き「箱根駅伝と経済小説」をテーマに、英国で見た地方都市の生き残り方策などについて講演をいただける予定となっております。

これらの記念事業を通して、本式典などが本市のさらなる発展に向けて、決意を新たにする機会となるよう、取り組んでまいります。

※このほか吉村教育長から「全国学力・学習状況調査」学習サポートプログラム事業「新型コロナウイルス感染症における小中学校の対応」「ホクレン・ディスタンスチャレンジ2022深川大会」の4件について教育行政報告を行いました。

ふれあう心
そのお買い物は
深川で



深川商工会議所・深川市商店街振興組合連合会・深川市